

採択理由

プログラム名：重要政策課題への機動的対応の推進
(課題1) iPS細胞研究を含む再生医療研究推進・
支援体制整備に向けた国際動向調査研究
課題名：新 iPS 細胞と iPS 細胞活用の調査研究
代表者名：多田 高
所属機関名：京都大学

コメント

本提案は、研究組織や国際共同研究体制、細胞バンク体制などの情報を含めた海外の iPS 細胞研究動向・研究活動に関する最新情報を、第一線で活躍する国内外の研究者から迅速かつ適切に収集することを目指しており、本課題の趣旨に合致するものと判断された。国内の最新情勢に関する知識をベースとして、有用な海外情報の的確な収集把握を可能とする国内の第一線の iPS 細胞研究者が主体となった情報収集体制は、高く評価される。そのような体制の下で、研究者相互のコミュニケーションや研究者コミュニティなどにおける交流等から積極的に情報収集を行い、up-to-date に把握された各国の iPS 細胞研究関連情報を、総合科学技術会議 iPS 細胞研究ワーキンググループに適宜、提供されたい。

なお、実施にあたっては、平成20年度文部科学省 再生医療の実現化プロジェクト「ヒト iPS 細胞等研究拠点整備事業『京都大学 iPS 細胞研究統合推進拠点』」で行われる事業内容にも留意し、iPS 細胞研究を取り巻く周辺環境も含めて情報収集を行うよう留意ありたい。